

- 駐車地 ↓ 0:01
- 鳥居 ↓ 0:11
- 岩屋神社 ↓ 0:18
- 見晴岩 ↓ 0:08
- 奥の院 ↓ 0:14
- 端部 ↓ 0:04
- 大日社 ↓ 0:06
- 不動様 ↓ 0:10
- オートキャンプ場 ↓ 0:05
- 大イチョウ ↓ 0:16
- 駐車地

岩屋神社 2022.03.24(木) 晴れ

駐車地→鳥居→岩屋神社→見晴岩→奥の院→端部→大日社→不動様→オートキャンプ場→大イチョウ→駐車地



鳥居前の駐車場に止められず、少し先の道路路肩に駐車し、引き返す。



山側の標石には「国定公園 岩屋山」と刻んである。



岩屋神社の鳥居が見えた。



傍の案内板に目を通す。



随所で見られる説明板。



鳥居の扁額には「岩屋神社」と刻んである。



参道を緩やかにカーブするよう上って行く。



岩屋の天然記念物 大ツバキ「熊谷」と説明板を見る。



岩屋神社の説明板を読む。



石段を上って行く



廃仏毀釈で破壊された五百羅漢。



首無し地藏。



天保年間に岩屋坊良辨が穿った洞門を抜ける。



抜けると、お釈迦様や地藏尊がズラリと並ぶ。奥の急な素掘り階段を上って行く。



素掘りの階段を上って行く。



岩屋神社に到着。



端部から東北東に浅間山が望める。



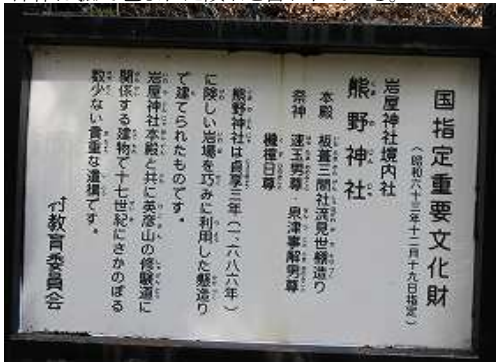
ハングした岩壁に収まるよう神社は建っている。御神体は菰で包まれた隕石と言われている。



最大幅30cm弱の針の耳。



案内板を見て石段を上って行く。



熊野神社の案内板。



懸造り板葺き三間社流見世棚造りの熊野神社。



標柱Aを見る。



岩峰の裾に行く。



烏帽子岩を見上げる。



苔付きの素掘り石段を上って行く。



北に大日岳・研石峠・釈迦ヶ岳を望む。



見晴岩とゲンカイソツジ。



素掘り階段を上って行く。



東に烏帽子岩を見る。



見晴岩分岐に出合い左へ進む。



クサリ場を上る。



見晴岩の標石を見る。



見頃のゲンカイツツジ。



岩上を東へ進む。



突端に2級基準点を見る。



南に城ヶ迫が望める。



北東に浅間山を見る。



北西から北北東の展望。



見晴岩尾根から左へ下る。



岩棚を進む。



標柱Bに出会い、奥の院へ向かう。



西方向へ進む。



西側に鶯窟を見る。



北の岸壁にお大師様の摩崖仏を見る。



標柱Cを見る。



奥の舟玉地藏に立ち寄る。



西へ回り込むと奥の院と十三仏を見る。



奥の院



十三仏



引返し、標柱Bから右へ向かう。



クサリ場を下る。



標柱Dに出会い、大日社へ向かう。



岩棚を右へ回り込む。



苔付き岩のクサリ場を上る。



上り上がっての眺望。



反対側のクサリ場を下り左へ進む。



ぼくち穴に石仏を3体見る。



端部から東北東に浅間山を望む。



岩棚を引き返す。



クサリ場を通過して岩棚をトラバースする。



前方上方に大日社が見え、素掘り階段を上って行く。



大日社 栗島神社とも言い、窟状になっている。



修行窟が見られる。



引返し、幅が狭く苔むす滑りやすい急な階段を下る。



標柱Eに出会う。



苔むす参道を緩く下る。



不動様を見上げる。



傍の石仏。



傍に立つ標柱。



分岐で右へ下る。



北に立会地藏を見る。



板橋を渡り左へ向かう。



擬木階段を緩く上って行く。



吊り橋を渡る。



吊り橋の左に東屋を見る。



平坦路を行く。



オートキャンプ場を見て、引き返す。



北東に浅間山を望む。



天然記念物の大イチョウ。



屏風岩とゲンカイツツジ。



鳥居を出る。



駐車地へ帰り着いた。



フッキソウ



大ツバキ



ゲンカイツツジ



ヤブツバキ



サツマイナモリ



ハナダイコン



ジンチョウゲ



フロケマン



レンギョウ



カンボケ



イチリンソウ



ナノハナ



キラソウ



スミレ